※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	生活文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi2026　資料＋成分表（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

先人が築いてきた「和」の暮らしの魅力やその心に触れ、「暮らしに彩を心に豊かさを」をキャッチフレーズに、和の小物（暮らしに役立つ季節のインテリア装飾品：例えばタペストリー・アドベントカレンダー・刺し子・押絵の色紙・正月飾り・かるた・染色した布巾やのれんなどの小物・和紙を用いた作品・・・他、被服実習とは限らない）を季節の移ろいを味わって創作するプロセスを楽しみましょう。また、各地の伝統産業について、各自でテーマを設定し探究したことを、新聞・レポート形式等で発表しあい、情報交換したりすることを通し、先人が築いてきた生活文化の歴史や技、伝統美について思いをはせ、私たちのライフスタイルのあり方や暮らしの価値観について共に意見交換し見つめなおしましょう。

これからの生活・時代・家庭・地域・社会をデザインするのは私たち一人ひとりです。未来の生活主体者として、自分らしさを大切に、自己の生活課題を見つめ、身近な家族・地域社会の生活課題を発見・分析し、誰もが便利で豊かさを実感できる社会の構築に向けて考察を深め、積極的にそれらを解決しようとする態度や創造力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

㊥
・先人たちの知恵や工夫に思いを寄せ、私たちと同様に、家族・地域・社会を愛する気持ちが積み重なって文化が築かれてきたことに気づくことができる。

㊫
・「和」の暮らしに着目し、調査研究や、季節や行事に合わせた小物づくりをすることを通し、創意工夫を繰り返し表現することができる。また「和」の生活文化の奥深さについて理解を深め、それを自分の言葉で表現し、発表することができる。
・日本の年中行事を取り上げ、各地の伝統文化や慣習、伝統美や歴史について各自調査研究し、多様な生活の価値観に触れ、それらを自己のライフスタイルと比較しながら考察を深めたことを発表しあい、自分の言葉で情報・意見交換することができる。

㊦
・伝統ある生活文化のありようを参考にしながら、自己の生活の課題を常に見つめなおし、改善を重ねようとする学びのスタイルを身についている。
・これからの社会を担う生活主体者として、現代・未来の生活課題について、繰り返し自ら探究し、積極的にそれらを解決しようとする姿勢を持ち続け、社会に発信していくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	日本の年中行事を取り上げ、各地の伝統文化や生活習慣について、その成り立ちを調べ、日本のお伝統の美・技に触れることで、その基礎的知識を身につけている。 先人たちの知恵や工夫に思いを寄せ、私たちと同様に、家族・地域・社会を愛する気持ちが積み重なって文化が築かれてきたことに気づき、自己のライフスタイルにおいてもそれらの価値観を活かし、創意工夫して実践することのできる基礎的な知識を身につけている。 実習や調査研究を通じ体験的に学び、和の生活文化に関する基礎的知識や技能を身につけている。	和の暮らしに着目し、調査研究や、季節の行事に合わせ、小物づくりをすることを通し、生活文化の奥深さについて自ら探究することができる技術と能力をもっている。 地域の伝統産業に着目し、地域によってどのようないわれがあり、違いがみられるか、なぜその地域でその文化が育まれてきたのか、その背景について考察を深め、レポート・新聞形式で発表しあい、情報交換・意見交換をする思考・判断・表現力をもっている。 現代・未来社会においての地域及び社会における生活の中から自ら課題を発見・設定し、解決策を模索し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	これからの社会を担う生活主体者として、どのような視点が大切かを自ら考え、研究・実践しようとする態度を身につけている。 様々な人々と協働し、誰もが便利で豊かさを実感できる社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

一学期	「和」の文化の「心」に触れよう	・「生活文化」の学び方 ―生活をデザインする主体― ・各地の伝統産業を調べてみよう① ↓ ≪新聞づくり≫ （各自の研究テーマ設定） 日本の年中行事を知ろう（夏編） ↓ ≪作品作り≫ （夏編） ≪発表≫ （各自の研究テーマの内容中間報告 ↓ ≪意見交換≫ （まとめ）	a：日本の伝統文化や伝統産業、伝統行事に着目した各自の調査研究を通し、先人が築いてきた「和」の文化の「心」について理解を深めている。また、伝統産業が直面している課題を分析し、人とライフスタイルの関係、暮らしの文化、健康・安全・環境に配慮した暮らしのあり方について理解するとともに、現代のライフスタイルの問題点を発見し、それらを解決するために必要な生活情報の収集・整理が適切にでき、生涯を通して健康・安全で環境に配慮した生活を営むために必要な暮らしの知識、持続可能な消費者市民社会の実現に向け、生活の主体者として、また一消費者としての責任を多面的に検討する技術を身につけている。 b：自己の生活をはじめ、現代社会がかかえている生活における問題点を見出して課題を設定し、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある消費について、問題解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 ｃ：持続可能な開発目標（SDGｓ）の視点から、現代の生活の特徴と課題について、自立した生活者として生活に関する情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、誰もが便利で豊かさを実感できる社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造実践しようとしている。	レポート 作品 発表	レポート ファイル （自分で調べてまとめたもの） 作品 発表	授業観察 ファイル （自分で調べてまとめたもの）

※令和４年度以降入学生用

二学期	「和」の「心」を味わい、暮らしに役立てよう	・各地の伝統産業を知ろう② ↓ ≪発表≫ （各自の研究テーマの内容最終報告 ↓ ≪意見交換≫ （まとめ） ↓ ≪かるたづくり≫ 日本の年中行事を知ろう（秋編） ↓ ≪作品作り≫ （秋編） ・日本の年中行事を知ろう （冬編） ↓ ≪作品作り （冬編）≫ ≪発表≫ （かるたの解説） ↓ ≪意見交換≫ （まとめ）	a：日本の伝統文化や伝統産業、伝統行事に着目した各自の調査研究を通し、先人が築いてきた「和」の文化の「心」について理解を深めている。また、伝統産業が直面している課題を分析し、人とライフスタイルの関係、暮らしの文化、健康・安全・環境に配慮した暮らしのあり方について理解するとともに、現代のライフスタイルの問題点を発見し、それらを解決するために必要な生活情報の収集・整理が適切にでき、生涯を通して健康・安全で環境に配慮した生活を営むために必要な暮らしの知識、持続可能な消費者市民社会の実現に向け、生活の主体者として、また一消費者としての責任を多面的に検討する技術を身につけている。 b：自己の生活をはじめ、現代社会がかかえている生活における問題点を見出して課題を設定し、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある消費について、問解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 ｃ：持続可能な開発目標（SDGｓ）の視点から、現代の生活の特徴と課題について、自立した生活者として生活に関する情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、誰もが便利で豊かさを実感できる社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造実践しようとしている。	レポート ワークシート 作品 かるた 発表	レポート ファイル （自分で調べてまとめたもの） 作品 かるた 発表	授業観察 レポート ファイル （自分で調べてまとめたもの） 作品 かるた 発表

※令和４年度以降入学生用

三学期	「和」の「心」を大切に、これからの暮らし・生き方をザインしよう	≪かるた大会≫ （各自製作したかるたを合わせる） ↓ ≪意見交換≫ （まとめ） 日本の年中行事を知ろう（春編） ↓ ≪作品作り≫ （春編） 私が考える「豊かな暮らし」とは ≪小論文作成≫ ↓ ≪発表≫ （小論文） ↓ ≪意見交換≫ （まとめ）	a：日本の伝統文化や伝統産業、伝統行事に着目した各自の調査研究を通し、先人が築いてきた「和」の文化の「心」について理解を深めている。また、伝統産業が直面している課題を分析し、人とライフスタイルの関係、暮らしの文化、健康・安全・環境に配慮した暮らしのあり方について理解するとともに、現代のライフスタイルの問題点を発見し、それらを解決するために必要な生活情報の収集・整理が適切にでき、生涯を通して健康・安全で環境に配慮した生活を営むために必要な暮らしの知識、持続可能な消費者市民社会の実現に向け、生活の主体者として、また一消費者としての責任を多面的に検討する技術を身につけている。 b：自己の生活をはじめ、現代社会がかかえている生活における問題点を見出して課題を設定し、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある消費について、問題解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 ｃ：持続可能な開発目標（SDGｓ）の視点から、現代の生活の特徴と課題について、自立した生活者として生活に関する情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、誰もが便利で豊かさを実感できる社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造実践しようとしている。	レポート ワークシート 作品 小論文 発表	レポート ファイル （自分で調べてまとめたもの） 作品 小論文 発表	授業観察 ファイル （自分で調べてまとめたもの） 作品 小論文 発表

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度